

## 外部評価（平成 21 年度、22 年度）

戦略的大学連携支援プログラムの外部評価体制として、他大学や関係団体等の有識者をメンバーとする「外部評価委員会」を設置している。連携取組の実績と成果について、運営委員会・各ワーキンググループによる自己点検・評価結果をもとに、平成 23 年 2 月 19 日（土）外部評価委員会を実施した。

### 評価結果

連携事業の概要説明や質疑応答の内容に基づき、「評価表」の全 21 項目について 5 段階で評価を受けた。

#### ■ 評価表

##### 【凡例】

##### (1) 取組みの実施状況

- 5：計画を上回り実施している、4：計画を十分に実施している、3：概ね計画どおりに実施している  
2：計画の実施にやや遅れがある、1：計画の実施が不十分である

##### (2) 取組みによる成果

- 5：計画を上回る成果が得られている、4：計画どおりの成果が得られている、3：概ね成果が得られている  
2：成果がほとんど得られていない、1：検討段階に留まり成果が得られていない（改善の余地がある）

評価項目	取組みの実施状況				取組みによる成果			
	外部評価委員 A	外部評価委員 B	外部評価委員 C	内部評価	外部評価委員 A	外部評価委員 B	外部評価委員 C	内部評価
全体								
① 連携取組共同ホームページの開設	4	4	4	4	4	4	4	4
薬剤師レジデント（薬剤師レジデント運営委員会）								
② 先行事例調査	4	5	4	4	4	5	4	4
③ 薬剤師レジデント教育	4	5	5	4	3	5	5	4
④ 薬剤師レジデントの採用と研修報告会	3	5	5	4	3	5	5	4
授業科目共同開発（共同研究・教育開発システム検討ワーキンググループ）								
⑤ 連携教員の採用	3	4	5	4	3	4	4	4
⑥ 講義収録配信システム	3	4	4	4	3	4	4	4
⑦ 講義科目の特論受講方法	3	4	4	4	3	4	4	4
⑧ 初期体験臨床実習・IPW 演習	4	4	5	5	4	4	5	5
FD・SD（FD・SD 検討ワーキンググループ）								
⑨ ファシリテーター研修	4	4	5	4	3	4	4	4
⑩ 神戸大学医学部ツアー	3	4	5	4	3	4	5	4
⑪ 臨床シミュレーターを用いた新しい薬学臨床教育説明会	4	4	4	4	3	4	4	4
⑫ FD・SD 研修プログラムと医薬品安全管理研修	3	4	4	4	3	4	4	4
⑬ Web 会議システム説明会	3	4	5	3	3	4	4	3
⑭ 海外研究者講演会	4	5	4	4	4	5	4	4

共同研究（共同研究・教育開発システム検討ワーキンググループ）								
⑮ 大学院教育での連携	4	4	5	4	4	4	4	4
⑯ 共同研究の推進	4	4	4	4	4	4	3	4
生涯研修（医療生涯研修支援プログラムワーキンググループ）								
⑰ 第3回神戸薬科大学シンポジウム	4	5	4	4	4	5	4	4
⑱ 第1回 Student CASP Workshop in Kobe	4	4	4	4	4	4	4	4
全体								
⑲ ニュースレター	4	4	5	4	4	4	4	4
その他全体								
⑳ 事業推進のための講義収録について	4	4	4	4	4	4	4	4
㉑ 連携取組報告会	4	4	4	4	4	4	5	4

## ■ 概評

### 外部評価委員 B

医療技術の進歩、医薬品開発の進歩が著しいなかで質の高い医療の提供が求められている。2006年度から6年制薬学部がスタートし高度職能薬剤師養成を標榜してきている。医学・薬学が連携した今回のプロジェクトは、時宜を得たものでありその成果と持続的な発展が期待されている。

1委員会と3つのWGが設置されそれぞれが独自にまた相互補完的に計画を立て実行している。それぞれの計画は十分に実行されており期待された成果を挙げている。

日本における薬剤師レジデントの歴史は浅いものの国内外の制度を調査し積極的に取り組み、成果を挙げている。日本における薬剤師レジデント制度の確立に向け努力を続けてほしい。本制度はチーム医療を目指している中での薬剤師の資質向上に寄与するものとする。薬剤師レジデントへの真摯な取り組みとその成果に対して5点を配している。

また神戸薬科大学は薬剤師の生涯教育に関し伝統と実績がありそれを基にした医学分野との連携で医療に関する生涯教育に更なる発展がみられその分野にも5を配点した。

FD・SD検討WGが企画した海外研究者講演会においては、チーム医療の中の薬剤師の役割と重要性について実務面から報告され多くの知見が得られていることもあり5を配点した。

医学・薬学の共同研究においてはハード面だけでなくソフト面でのより積極的な相互協力を遂行していただきたい。

医学分野からみると薬に関する高度な資質を得ることができ、薬学分野からは臨床薬学の充実が期待されるこのプロジェクトが成功裏に遂行され日本におけるチーム医療の向上と充実に貢献し、質の高い安心・安全な医療体制の確立に寄与されることを期待している。

### 外部評価委員 C

医薬共同での人材育成への広範囲な取り組みで、熱意は充分感じられた。レジデント教育は、神戸大学医学部で行われ、当事者達の発表でも的確で成果が感じられた。

ただ、生涯学習やネットでの会合など、共通部分はむしろ割り切って、負担軽減を図ることも重要と感じた。

全体として、成果は直ちには難しい面もあるが、チーム医療を円滑に行うためにも多くの成果の期待される重要な取り組みと考えられる。

大学名:神戸薬科大学

取組名称:医薬共同による創薬・育薬を担う医療人の育成を通じた私立・国立大学間の連携

氏名:

## 評価表

### 1. 事業の進捗状況

【凡例】

(1)取組の実施状況

5:計画を上回り実施している、4:計画を十分に実施している、3:概ね計画どおりに実施している、2:計画の実施にやや遅れがある、1:計画の実施が不十分である

(2)取組による成果

5:計画を上回る成果が得られている、4:計画どおりの成果が得られている、3:概ね成果が得られている、2:成果がほとんど得られていない、

1:検討段階に留まり成果が得られていない(改善の余地がある)

評価項目	評価記入欄		内部評価 評定	
	取組の実施状況	取組による成果	取組の実施状況	取組による成果
<b>全体</b>				
<b>①連携取組共同ホームページの開設</b> 連携取組共同ホームページの開設と学部開講科目・大学院開講科目と共同研究の在り方の検討及び試行(遠隔会議システム開発の検討含む)(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>薬剤師レジデント(薬剤師レジデント運営委員会)</b>				
<b>②先行事例調査</b> 薬剤師レジデント教育プログラムの先行事例調査と薬剤師レジデント教育プログラムの一部実施(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>③薬剤師レジデント教育</b> 薬剤師レジデント教育プログラムの先行事例調査と薬剤師レジデント教育プログラムの一部実施(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>④薬剤師レジデントの採用と研修報告会</b> 薬剤師レジデント教育プログラムの先行事例調査と薬剤師レジデント教育プログラムの一部実施(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4

評価項目	評価記入欄		内部評価 評定	
	取組の実施状況	取組による成果	取組の実施状況	取組による成果
<b>授業科目共同開発(共同研究・教育開発システム検討WG)</b>				
<b>⑤連携教員の採用</b> 連携取組共同ホームページの開設と学部開講科目・大学院開講科目と共同研究の在り方の検討及び試行(遠隔会議システム開発の検討含む)(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑥講義収録配信システム</b> 大学院講義科目の特論受講方法(遠隔授業の検討含む)としての講義収録・配信システム開発の検討及び試行(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑦講義科目の特論受講方法</b> 大学院講義科目の特論受講方法(遠隔授業の検討含む)としての講義収録・配信システム開発の検討及び試行(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑧初期体験臨床実習・IPW演習</b> 連携取組共同ホームページの開設と学部開講科目・大学院開講科目と共同研究の在り方の検討及び試行(遠隔会議システム開発の検討含む)(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	5	5
<b>FD・SD(FD・SD検討WG)</b>				
<b>⑨ファシリテーター研修</b> FD・SD研修プログラムと医薬品安全管理研修の来年度試行内容の検討及び試行(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑩神戸大学医学部ツアー</b> FD・SD研修プログラムと医薬品安全管理研修の来年度試行内容の検討及び試行(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4

評価項目	評価記入欄		内部評価 評定	
	取組の実施状況	取組による成果	取組の実施状況	取組による成果
<b>FD・SD(FD・SD検討WG)</b>				
<b>⑪臨床シミュレーターを用いた新しい薬学臨床教育説明会</b> 連携取組共同ホームページの開設と学部開講科目・大学院開講科目と共同研究の在り方の検討及び試行(遠隔会議システム開発の検討含む)(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑫FD・SD研修プログラムと医薬品安全管理研修</b> FD・SD研修プログラムと医薬品安全管理研修の来年度試行内容の検討及び試行(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑬Web会議システム説明会</b> 連携取組共同ホームページの開設と学部開講科目・大学院開講科目と共同研究の在り方の検討及び試行(遠隔会議システム開発の検討含む)(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	3	3
<b>⑭海外研究者講演会</b> FD・SD研修プログラムと医薬品安全管理研修の来年度試行内容の検討及び試行(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>共同研究(共同研究・教育開発システム検討WG)</b>				
<b>⑮大学院教育での連携</b> 連携取組共同ホームページの開設と学部開講科目・大学院開講科目と共同研究の在り方の検討及び試行(遠隔会議システム開発の検討含む)(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4
<b>⑯共同研究の推進</b> 本事業推進のための講義収録スタッフ及び事務スタッフの採用と生物医学系機器の購入設置と運用(両大学)	5    4    3    2    1 	5    4    3    2    1 	4	4

評価項目	評価記入欄		内部評価 評定	
	取組の実施状況	取組による成果	取組の実施状況	取組による成果
<b>生涯研修(医療生涯研修支援プログラムWG)</b>				
⑨第3回神戸薬科大学シンポジウム 医療生涯研修支援プログラムの実施内容の検討及び試行(両大学)	5 4 3 2 1  -----	5 4 3 2 1  -----	4	4
⑩第1回Student GASP Workshop in Kobe 医療生涯研修支援プログラムの実施内容の検討及び試行(両大学)	5 4 3 2 1  -----	5 4 3 2 1  -----	4	4
<b>全体</b>				
⑪ニュースレター 平成22年度の自己点検・自己評価と連携取組報告会の開催、ニュースレターの発行(両大学)	5 4 3 2 1  -----	5 4 3 2 1  -----	4	4
<b>その他全体</b>				
⑫事業推進のための講義収録について 本事業推進のための講義収録スタッフ及び事務スタッフの採用と生物学系機器の購入設置と運用(両大学)	5 4 3 2 1  -----	5 4 3 2 1  -----	4	4
⑬連携取組報告会 平成22年度の自己点検・自己評価と連携取組報告会の開催、ニュースレターの発行(両大学)	5 4 3 2 1  -----	5 4 3 2 1  -----	4	4